

項目	R5											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市制100周年・緑化フェア実行委員会（約300団体）			●100周年幹事会④ ●緑化フェア幹事会③	100周年●幹事会⑤ ●緑化フェア幹事会④	第3回総会 8/29		●100周年幹事会⑥	●緑化フェア幹事会⑤		●100周年幹事会⑦		100周年●幹事会⑧ 第4回総会
①実行委員会主催事業	共同事務局と中心とした「プレ事業」、「R6 記念事業」の検討					「プレ事業」（共同事務局）実施						
	実行委員会参画団体提案による事業募集に向けた検討					提案事業の募集・選定					「プレ事業」（参画団体提案）実施	
	「R6記念事業」（共同事務局・参画団体提案）実施に向けた検討											
フェス&カンファレンス	PJメンバー募集		製作委員会による検討（実施会場、テーマ、プログラム等）					フェスティバル 11/10～26 カンファレンス 11/17・18		R6本格開催に向けた検討 R7以降の継続開催に向けた検討		
	●製作委員会設立総会		スポンサー募集		スポンサー講座・ブース等の調整							
②市主催事業 ※各局区主催59事業	100周年記念プレ事業の実施											
	R6事業実施に向けた調整											
③参画団体主催事業	参画団体主催事業募集に向けた検討					提案事業の募集・選定						
	「プレ事業」（参画団体主催事業）実施											
④パートナー主催事業	パートナー事業登録制度の検討					市民・企業・団体等の機運醸成に向けたセミナー・交流イベント等の開催						
	パートナー事業の随時受付・登録・管理											
	パートナーによる「プレ事業」の実施											
協賛金(100・緑化)	制度設計					協賛金募集						
広報	ノベルティグッズの活用											
	●実行委員会ウェブサイトリニューアル					●ニュースレター第1号		●ニュースレター第2号		●ニュースレター第3号		
	各種広報物（ポスター、PR動画、特別冊子等）の制作 ⇒ 随時活用											
イベント等に出向いてのブース設置												
庁内の機運醸成の取組	取組の検討・実施											
記念式典 (令和6年7月1日@ミューザ)	式典内容の検討調整											

100周年記念事業実施計画 改訂

# 川崎市市制100周年記念事業の 全体像イメージ

COLORS, FUTURE! ACTIONS  
KAWASAKI 100th

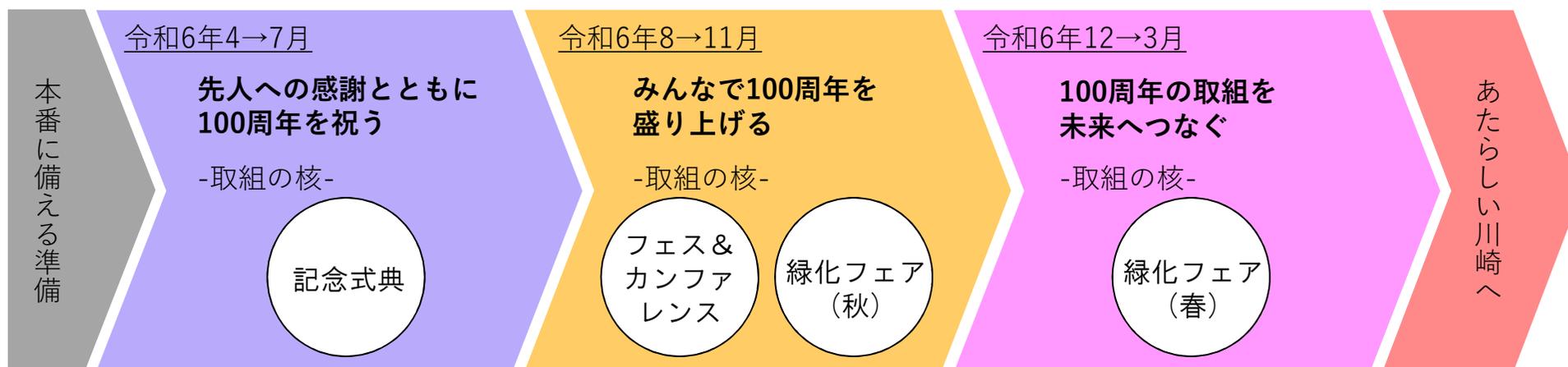
令和5年6月9日

# 川崎市制100周年記念事業は、 みんなで、あたらしい川崎を作り上げる事業です。

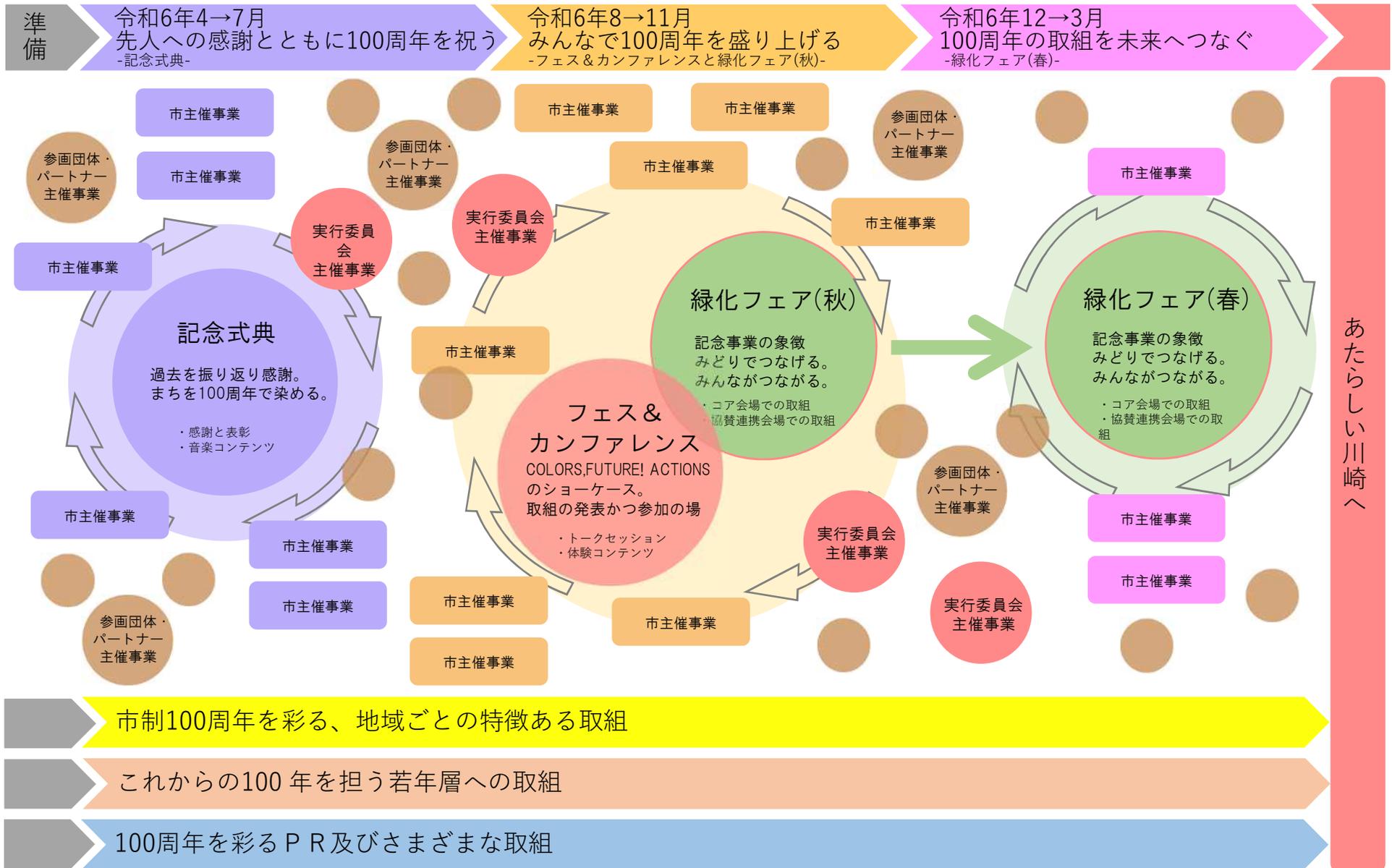
記念式典やフェス&カンファレンス、緑化フェアを取組の核として、  
以下の4つの視点により、市域全域でさまざまな事業を展開。  
この先100年に向けた、川崎市の成長のきっかけを創出します。

## 市制100周年記念事業に取り組む視点

- 【視点1】 共創による社会課題の解決と未来への挑戦
- 【視点2】 川崎を好きになる事業の展開
- 【視点3】 これからの100年を担う若年層を中心とした「あたらしい川崎」を生み出す取組の展開
- 【視点4】 市民、企業、団体等を巻き込む取組の実施



記念式典、フェス&カンファレンス、緑化フェアを取組の核として、同時期の取組と有機的に連携。  
 年間を通じて100周年を盛り上げながら、これまでになかったかけ合わせを生み出すきっかけとします。



100周年記念事業を一過性の取組とせず、この先100年に向けた川崎市の成長の機会にします。  
 100周年をきっかけに多様な主体が混ざり合う土壌を残すとともに、自らまちに関わり盛り上げる機運を加速します。

100周年記念事業・都市緑化かわさきフェアにより残すレガシー

・共創により、新たなかけ合わせが生まれる土壌

- ・新たなかけ合わせの場としてのプラットフォームが継続。
- ・取組のショーケースとして、「フェス&カンファレンス」が民間主体で継続。



新たなかけ合わせのきっかけ  
「CFAプラットフォーム」



COLORS, FUTURE, ACTIONS  
のショーケース。  
「フェス&カンファレンス」

・緑化フェアのレガシー

- ・フェアをきっかけに、市民、地域団体、企業等の多様な主体との協働・共創により、まちの至るところにおいて、日常的に憩い、集い、賑わう質の高いみどりとオープンスペースを創出
- ・日常の暮らしの中にみどりが溶け込み、みどりを通して、人と人、人とまちのつながりを生み出す



日常的に憩い、集い、賑わうみどりとオープンスペースを創出



日常の中にみどりが溶け込み、みどりを通してつながりを生み出す



地域のやりたいを叶えることができる地域の個性があふれる公園に

【視点2】【視点3】

・川崎のファンが増加

- ・川崎を知って、関わって、好きになったこどもたちが、「あたらしい川崎」を生むおとなに成長。



SHISHAMO

【視点1】【視点2】

・川崎の特長的な取組が加速

- ・各施策が100周年を機にチャレンジし、取組が加速。



公共空間の活用が加速！



まちなかに若者文化が浸透



多摩川マラソンに車いす部門等の新設